

足元を固め、 突き抜ける



豊岡市長 中貝宗治

年 あいさつ

あけましておめでとうございます。市民の皆様にとって、豊岡の暮らしを楽しみ、豊岡の人生に誇りを感じつつ笑顔あふれる一年になりますように。

今年、足元をしっかりと固める作業を進め、同時に突き抜けてまいります。

まず、コミュニティ崩壊の危機への対処です。人口が減り、子どもの声が聞こえなくなる中で、地域力が弱まりつつあります。人々の支え合いこそが、豊岡の宝です。そこで、公民館単位で支え合う新たなコミュニティ組織を立ち上げることとしました。今年、モデル地区を選定し、実験的な取り組みを進めます。将来的には、公民館を、従来の社会教育機能に加え、より広く地域課題を解決する拠点へと拡充しようという作戦です。

うちの区は大丈夫だということもあると思います。しかし、崩壊は一気にやってきました。過疎が急速に進んだ高根県では、この50年ほどの間に57の集落が自然消滅したそうです。まだ余力のあるうちに、早く手を打たなければなりません。

各区での支え合いを基本としながら、それを補完し、中長期的な取組みもできる新たな組織が立ち上がるよう、市民の皆様と共に模索し、生みの苦しみを続けてまいります。

と同時に、「小さな世界都市」の実現に向けて歩みを加速させ、突き抜けてまいります。

昨年、旅行ガイドブック「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」に城崎温泉や出石の街並み、コウノトリの野生復帰などが掲載されました。既に、城崎温泉への外国人宿泊客は、この2年間で8倍、世界各国から1万人近くに増える勢いです。また、主にアジアから年間1万人近く受け入れている出石蕎麦の店もあります。

世界から豊岡にやって来る方々は、東京やニューヨークを見たい訳ではありません。彼らは、「豊岡」を見たい訳です。私たちが受け継いできたもの、それこそが売り物です。昨年11月、ロンドンで開かれたヨーロッパ最大の旅行博に豊岡も出展しました。結果は、豊岡の魅力は十分世界に通用する。しかし、情報発信や受入れ態勢はまだまだだ、というものでした。可能性は十分です。

但東の安国寺は、昨年有料化したにもかかわらず、ドウダンツツジを見に来た人は約2万2千人、そのうち1万9千人が有料参拝者でした。竹野のジオカヌーは、昨年、利用者が2420人、対前年1.5倍に増えました。神鍋溶岩流の来訪者も着実に増えていきます。これらもまた、豊岡が受け継いできたものばかりです。豊岡の可能性と希望は、私たちの外にはなく、私たち自身の中にあります。今年もお互いの力を合わせて、豊岡の未来を切り拓いていきたいと思います。

新 年頭のご



豊岡市議会議長 野口逸敏

議会新体制で暮らしやすいまちを

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。皆さまご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年10月に市議会議員選挙が行われ、定数2名減となる24名の議員で、合併後4期目の議会体制がスタートしました。今後4年間、議員一丸となって皆さまの負託に応え、誠心誠意暮らしやすいまちづくりのため、心新たに努力、まい進する所存です。

昨年の日本を振り返りますと、さまざまな出来事がありました。7月には参議院議員選挙が行われ、「ねじれ国会」が解消されることになりました。今後は、厳しい地方の経済を底上げする活気と元気が出る国策を強力に推進していただきたいと望むものです。

また、近年、異常気象が続いており、10月には台風26号が伊豆大島を直撃し、大規模な土石流が発生する大惨事がありました。幸い本市では大きな災害はありませんでしたが、お隣の福知山市では、台風18号による河川の氾濫等で甚大な被害が出ています。いつ、どこで災害が起きるか分からないことを肝に銘じておくことを痛感するとともに、さらに安全・安心なまちづくりを推進していきます。

昨年は東京オリンピック開催決定やプロ野球楽天の日本シリーズ初優勝など、国民に大

きな夢と感動を与えてくれる話題もありました。本市でも7月に待望の新庁舎が完成し、8月13日から業務が開始されました。豊岡市の新時代幕開けの予感を感じさせる、威風堂々とした、近代的で環境に優しい庁舎です。議場も新しくなり、非常に品格があるものに生まれ変わりました。これからも市の発展、まちづくりのため、新議場で議論が大いに戦わされます。昨年からインターネット中継を開始しましたが、ぜひ、傍聴にもお越しください。

残っている旧庁舎も取り壊しが進み、駐車場や芝生広場の整備等が行われ、4月にはグランドオープンする予定であり、再度皆さまと竣工の喜びを味わいたいと思います。

コウノトリが卵を生み、赤ちゃんを育てる季節がすぐそこに近づいてきました。雪の日や雨の日、炎天下でも卵やヒナを慈しむ姿を見るにつけ、いのちの尊さを改めて気付かせてくれます。この厳しくも自然豊かな豊岡ならではの風景を子や孫に残していくのが我々の責務であると思います。

年頭に当り、本年も皆さまにとって、幸多い年でありませう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつといたします。